

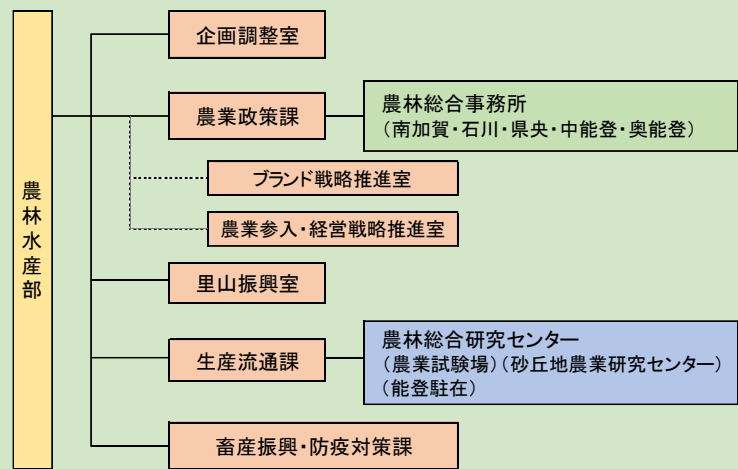
農業職に関するQ & A

- Q：農学系学部出身ではないですが、採用に不利になりますか？
A：採用は人物重視ですので、出身学部は関係ありません。農学系学部以外（理学部、教育学部等）の出身でも活躍している先輩は大勢います。
- Q：農業に関する知識に自信がなく、採用後が心配ですが、大丈夫ですか？
A：大丈夫です！新任普及指導員の研修やOJT研修等の研修体制が整っている他、日々の仕事の中でも多くのことが学べます。
- Q：農業職になるため、しておくべきことはありますか？
A：日々の生活の中でも農業の知識を学ぶことはできますので、日頃から新聞やテレビニュース等で世の中の動きを知り、新しい情報を得る習慣をつけると良いと思います。
- Q：女性職員はいますか？
A：男女関係なく採用してしますので、多くの女性職員が活躍しています。また、出産や育児の休業制度や復帰後のサポートも充実しておりますので、女性も働きやすい職場です。

農業職の主な配属先

農業職の仕事内容は配属先によって大きく異なり、主に農業行政は本庁、普及指導は農林総合事務所、試験研究は農林総合研究センターで行われています。

配属先は、毎年人事担当との面談等を通じて本人の希望や特性等を考慮して決まり、通常2～3年程度のサイクルで異動します。



※R2.4.1予定
※人事交流等で上記以外の部署に配属される場合もございます



待遇・採用試験案内等（R2.4.1 時点）

初任給（給料月額＋地域手当）
・大学卒業程度 約188,000円
・高校・短大卒程度 約155,000～約165,300円
※上記の金額は、金沢市内勤務で地域手当が加算されたものです。今後、人事委員会勧告により改定されることがあります。
※学校卒業後、職務経験など一定の経歴がある場合は、所定の金額が加算されます。
※職種によっては、研究職などの給料表が適用され、上記と異なります。

諸手当
期末手当・勤勉手当、扶養手当、通勤手当、住居手当、農林漁業普及指導手当、職務の特殊性に応じた特殊勤務手当などがそれぞれの支給条件に応じて支給されます。

勤務時間
原則として、月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時15分までとなっています。

休日
勤務の場所や内容によって異なる場合がありますが、原則として土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)が休みとなっています。

休暇等
年次有給休暇（年間20日、最大40日。ただし採用1年目は15日）のほか、特別休暇（夏期休暇、結婚休暇、出産休暇など）、介護休暇、育児休業制度などがあります。

農業職の業務に関する
お問い合わせ

石川県 農林水産部 生産流通課
〒920-8580 石川県金沢市鞍月1-1
TEL：076-225-1621
FAX：076-225-1624

採用に関する
情報・お問い合わせ

石川県人事委員会
〒920-8580 石川県金沢市鞍月1-1
TEL：076-225-1871
FAX：076-225-1872



石川県 農業職 職員採用ガイド

- 2 0 2 1 -



業務紹介

農業行政

農業に関する施策の企画立案や実施を通じ、県内農業の発展に努めています

- ・県産農産物の生産拡大、品質向上の支援
- ・県産農産物のブランド化、販売促進、地産地消の推進
- ・担い手や新規就農者等の育成、農業への参入に対する支援 等



◀県オリジナル米品種
「ひやくまん穀」
PRイベント※H31.11.21



技師 渡辺 一成
現所属：生産流通課
入庁年：平成28年度

花き・野菜の生産振興に関する業務を担当しています。

日頃は、農林事務所や農林総合研究センターと連携しながら、県産農産物の生産拡大や生産者の所得向上に繋がる施策を企画立案しています。

本県の園芸産地がより活性化するようにサポートしていきたいです。

普及指導

直接生産者に接して、農業技術の普及指導や経営向上の支援を行っています

- ・新技術や新品種の生産現場への導入に向けた指導
- ・地域の気候や風土に適した農産物の産地育成
- ・新規就農者に対する技術・経営指導 等



▲栽培講習会での技術指導



▲農業IT管理ツールを活用した経営改善指導



専門員 山地 梨紗
現所属：石川農林総合事務所
入庁年：平成15年度

「加賀しずく」の産地化、果樹の高品質生産技術の普及、新規就農者への技術指導などを行っています。

生産者に直接、指導・支援をしますので、現場の声はダイレクトに伝わります。その分、課題解決や目標達成時には、担当地区の生産者と一緒に喜びを分かち合えるのが醍醐味です。

試験研究

生産現場の課題解決に向け、新技術や新品種の開発・育成を行っています

- ・消費者及び生産者のニーズを捉えた新品種の開発
- ・省力・低コスト技術や品質向上技術の開発
- ・効果的な病害虫防除法や農産物加工技術の開発 等



▲ドローンによる空撮



▲交配作業



技師 松野 由莉
現所属：農林総合研究センター
入庁年：平成29年度

水田作のブロックリーでスマート農業実証を行っています。ロボットトラクターやドローン、AI解析等の新しい技術を石川県の農業に役立てられるよう、研究を行っています。

高齢化や担い手不足への対応だけでなく、農業がより魅力的な職業になればと考えています。

石川県の 特徴的な取組

特色ある農産物のブランド化

石川県は農業算出額が全国43位と規模は大きくないものの、品質の高い優れた農産物が多くあります。

また、平成27年3月の北陸新幹線開業を契機に、食を求めて多くの観光客が石川県に訪れるようになりました。

そこで、生産量は少なくとも品質で差別化できる農産物を育てるため、特色ある県産農産物のブランド化に、生産者やJ A等の関係機関と一丸となり取り組んでいます。

New

百万石乃白

県が11年の歳月をかけて開発した酒米の新品種。

すっきりとした味わいのフルーティーで香り高い日本酒を造ることができ、削っても割れにくいことから大吟醸に適する加工適性の高さが特長です。

ルビーロマン

石川県オリジナル品種のぶどう。

「巨峰」の約2倍という国内品種では最大級の粒の大きさと、鮮やかな赤色の果皮が特徴です。



他産業と連携した低コスト化・高収益化技術



現在、農業者の高齢化や後継者不足により、全国的に農業を取り巻く環境は非常に厳しい現状にあります。そこで、「ものづくり産業の集積」という石川県の強みを活かし、企業と連携して、他産業の持つ技術やノウハウを農業経営や生産工程等に導入したモデルづくりに取り組んでいます。

コマツ

コマツの多機能ブルドーザの特性を活かし、多収米の乾田直播やICT機能による簡易な農地改良により、低コスト水稻生産モデルを構築



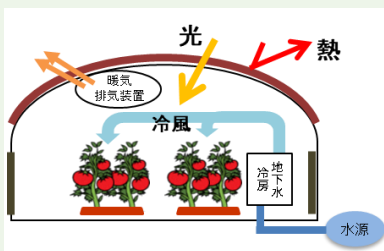
◀ 水稻乾田直播
播種

農地改良▶



コマツ×東レ

コマツ・東レと連携し、地下水を活用した冷房技術と新たな遮熱シートによりトマトの栽培期間を拡大



▲ 地下水冷房と遮熱シートを
組み合わせたトマト栽培

トヨタ

トヨタの生産管理手法を活用して、農作物の生産工程を“カイゼン”し、農家の生産性を向上

農作業の見える化



現場改善



改善前



改善後

メッセージ

配属先によってさまざまな業務がありますが、分からないときは先輩や上司が丁寧に教えてくださるので、些細なことでも気軽に相談し、安心して働くことができます。

また、福利厚生も整っているので、子育てや趣味などと両立している職員もたくさんいます。

ぜひ一緒に、石川県の農業を盛り上げていきましょう♪



子育てしやすい環境

福利厚生はもちろん、先輩ママ職員がたくさんいるので、ママにとっても働きやすい職場です。



仕事と趣味の両立

有給休暇やリフレッシュ休暇制度などを利用して、趣味や遊びも満喫しています。

＼お待ちしております！／

